

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク演習Ⅲ		ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	塩田 和正

授業の概要

VLANやEtherChannel、マルチエリアOSPFなどの高度なネットワーク技術を習得する
デフォルトゲートウェイの冗長化やVLAN間ルーティングのトラブルシュートを的確に行う力を身に付ける

授業終了時の到達目標

Cisco CCNA合格

実務経験有無	実務経験内容
有	システムエンジニアとして10年社会人経験を活かし、学生のロールモデルとなるように授業展開する

時間外に必要な学修

パケットトレーサの演習問題のうち授業内に未完の問題については、次回授業時まで完了させ、googleドライブにアップする

回	テーマ	内容
1	1年次の復習	パケットトレーサーを利用した課題作成 ACL①
2	1年次の復習	パケットトレーサーを利用した課題作成 ACL②
3	1年次の復習	パケットトレーサーを利用した課題作成 ACL③
4	1年次の復習	パケットトレーサーを利用した課題作成 DHCP
5	1年次の復習	パケットトレーサーを利用した課題作成 NAT
6	1年次の復習	パケットトレーサーを利用した課題作成 PAT
7	1年次の復習	パケットトレーサーを利用した課題作成 IPV6①
8	1年次の復習	パケットトレーサーを利用した課題作成 IPV6②
9	VLAN間ルーティング	VLAN間ルーティング VLANのトラブルシューティング
10	VLAN間ルーティング	パケットトレーサーを利用した課題作成 VLAN

回	テ ー マ	内 容
11	STP	STPの基本動作 STPトポロジの設計
12	STP	PVST+ STPの設定と検証
13	STP	パケットトレーサーを利用した課題作成 STP
14	EtherChannel	EtherChannelの概要 EtherChannelの設定
15	EtherChannel	EtherChannelのトラブルシューティング
16	レイヤ3冗長化	デフォルトゲートウェイの冗長化
17	レイヤ3冗長化	HSRP
18	IPv6の実装	IPv6アドレス
19	IPv6の実装	IPv6ネットワーク接続 IPv6アクセスリスト
20	IPv6の実装	パケットトレーサーを利用した課題作成
21	OSPF	OSPFの概要 OSPFの動作 OSPFの基本設定
22	OSPF	OSPFの検証
23	OSPF	パケットトレーサーを利用した課題作成
24~ 25	WAN接続	WANの概要 シリアルインタフェースの設定 HDLC、PPP、VPN
26	インフラストラクチャサービス	クラウドコンピューティング、SDN
27	インフラストラクチャサービス	QoS
28	インフラストラクチャサービス	SNMP、NetFlow
29~ 37	改訂版CCNAで追加される内容について	
38	CCNA対策	Ping-tを使ったWeb問題答練①
39	CCNA対策	Ping-tを使ったWeb問題答練②
40	CCNA対策	Ping-tを使ったWeb問題答練③

回	テ ー マ	内 容		
41	CCNA対策	Ping-tを使ったWeb問題答練④		
42	CCNA対策	Ping-tを使ったWeb問題答練⑤		
43	CCNA対策	Ping-tを使ったWeb問題答練⑥		
44	CCNA対策	Ping-tを使ったWeb問題答練⑦		
45	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
徹底攻略 Cisco CCENT/CCNA Routing&Switching 教科書 ICND1編		期末試験	60.0%	
徹底攻略 Cisco CCENT/CCNA Routing&Switching 教科書 ICND2編		課題・レポート	20.0%	
		出席率	20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サイバー攻撃・防御演習		ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	塩田 和正
授業の概要				
仮想環境を使って、安全な環境下での攻撃と防御の手法を習得する				
授業終了時の到達目標				
サイバー攻撃の手法を理解し、正しい対応を習得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		システムエンジニアとして10年。社会人経験を活かし、学生のロールモデルとなるように授業展開する		
時間外に必要な学修				
多種多様なOSやツールをひとつのPCに導入するので、環境が壊れることのないように各種ファイルやインストールデータの扱いに気をつけること				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	ハッキングラボの構築	KaliLinuxとは KaliLinuxのインストール KaliLinuxのカスタマイズ		
3~ 12	脆弱性のあるLinuxのハッキング	Metasploitableの導入 Metasploitableの初期設定 Metasploitableへの攻撃		
13~ 16	LANのハッキング	Wiresharkのインストール Wiresharkでのパケットキャプチャ		
17~ 26	LANのハッキング	ARPスプーフィング DNSスプーフィング ペネトレーションツール		
27~ 32	SQLインジェクション演習	SQLインジェクション		
33~ 37	Webアプリケーションのハッキング	DVWAの導入 DVWAの設定 SQLインジェクション ブラインドSQLインジェクション		

回	テーマ	内 容		
38～ 43	Webアプリケーションのハッキング	bWAPP bee-boxのセットアップ bWAPP bee-boxの設定 PHPコードインジェクション SSIインジェクション 辞書攻撃 Shellshock攻撃 バッファオーバーフロー		
44～ 45	ログオン認証のハッキング	Windowsのログオン認証のハッキング バックドアの設置		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ハッキングラボの作り方		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
情報処理講座Ⅱ（安全支援士/セキュマネ）	ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	45回	3単位（90時間）	必須
			担当教員
			片山 満久

授業の概要

10月実施の「情報処理安全確保支援士」に向けて、必須のセキュリティ技術を習得する

授業終了時の到達目標

情報処理安全確保支援士 合格

実務経験有無

実務経験内容

有

システムエンジニア・プログラマとして、フリー期間も併せて15年の実務経験
「よくわかるインターネット基本操作(西東社)」など著書多数
情報処理安全確保支援士（セキュリティスペシャリスト）試験に合格している

時間外に必要な学修

次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習しておくこと

回	テーマ	内容
1	情報セキュリティの概念	セキュリティと情報セキュリティ 物理的セキュリティと論理的セキュリティ
2	侵入検知・防御	情報セキュリティ対策の全体像 ホストの要塞化 脆弱性検査 Trusted OS
3	侵入検知・防御	ファイアーウォール 侵入検知システム 侵入防御システム
4	侵入検知・防御	Webアプリケーションファイアウォール サンドボックス
5	アクセス制御と認証	アクセス制御 認証の基礎 固定式パスワードによる本人認証 ワンタイムパスワード方式による本人認証
6	アクセス制御と認証	バイオメトリクスによる本人認証 ICカードによる本人認証 認証システムを実現する様々な技術 シングルサインオンによる認証システム
7	暗号	暗号の基礎 VPN IPsec SSL/TLS

回	テ ー マ	内 容
8	暗号	無線LAN環境におけるセキュリティ対策 PKI ログの分析及び管理 可用性対策
9	脅威	脅威の分類と概要 ポートスキャン バッファオーバーフロー攻撃
10	脅威	パスワードクラック セッションハイジャック DNSサーバに対する攻撃 DoS攻撃
11	脅威	Webアプリケーションに不正なスクリプトや命令を実行させる攻撃 マルウェアによる攻撃
12	脆弱性	脆弱性の概要 ネットワーク構成における脆弱性と対策
13	脆弱性	TCP/IPプロトコルの脆弱性と対策 電子メールの脆弱性と対策
14	脆弱性	DNSの脆弱性と対策 HTTP及びWebアプリケーションの脆弱性と対策
15	情報セキュリティマネジメント	リスクの概念とリスクアセスメント リスクマネジメントとリスク対応 情報セキュリティポリシーの策定
16	情報セキュリティマネジメント	情報セキュリティのための組織 情報資産の管理及びクライアントPCのセキュリティ
17	情報セキュリティマネジメント	物理的・環境的セキュリティ 人的セキュリティ
18	情報セキュリティマネジメント	情報セキュリティインシデント管理 事業継続管理 情報誌セキュリティ監査及びシステム監査
19	システム開発におけるセキュリティ対策	システム開発工程とセキュリティ対策 C/C++言語のプログラミング上の留意点
20	システム開発におけるセキュリティ対策	Javaのプログラミング上の留意点 ECMAScriptのプログラミング上の留意点
21	情報セキュリティに関する法制度	情報セキュリティ及びITサービスに関する規格と制度 個人情報保護及びマイナンバーに関する法律と制度

回	テ ー マ	内 容		
22	情報セキュリティに関する法制度	情報セキュリティに関する法律とガイドライン 知的財産を保護するための法律		
23	情報セキュリティに関する法制度	電子文書に関する法令及びタイムビジネス関連制度等 内部統制に関する法制度		
24	全体の振り返り	全体の振り返り		
25～ 34	過去問答練（午後Ⅰ）	過去問題の午後Ⅰ対策		
35～ 44	過去問答練（午後Ⅱ）	過去問題の午後Ⅱ対策		
45	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
情報処理教科書 情報処理安全確保支援士 2019		期末試験 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
セキュアプログラミング演習 I		ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	平松 謙治
授業の概要				
PHPを使ったwebアプリケーションの作成するスキルを養う MySQLを使つてのSQLを学習する				
授業終了時の到達目標				
HTML・CSSを活用したうえで、XAMPPを利用したPHP・MySQLなどのWebアプリケーション構築技術を学習させる。 自分でサイト構築を行う				
実務経験有無		実務経験内容		
有		コンピューターに関わり32年の実務経験 これまでのシステム開発の経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	PHPの基本	記述方法 変数		
2	PHPの基本	変数		
3	PHPの基本	変数 制御構造		
4	PHPの基本	制御構造		
5	PHPの基本	関数		
6	PHPの基本	関数 文字列操作		
7	PHPの基本	文字列操作		
8	PHPの基本	配列		
9	PHPの基本	配列		
10	PHPの基本	オブジェクト指向プログラミング		
11	PHPの基本	オブジェクト指向プログラミング		
12	Webページ連携	フォーム処理の基礎		
13	Webページ連携	フォーム処理の基礎		
14	Webページ連携	フォームコンポーネント		

回	テ ー マ	内 容		
15	Webページ連携	フォームコンポーネント		
16	Webページ連携	フォームコンポーネント		
17	Webページ連携	セッションとクッキー		
18	Webページ連携	セッションとクッキー		
19	Webページ連携	セッションとクッキー		
20	Webページ連携	ファイル操作		
21	MySQLとの連携	phpMyAdminについて		
22	MySQLとの連携	SQLの基礎		
23	MySQLとの連携	SQLの基礎		
24	MySQLとの連携	PHPからSQLを発行する		
25	MySQLとの連携	PHPからSQLを発行する		
26	MySQLとの連携	PHPからSQLを発行する		
27	MySQLとの連携	PHPからSQLを発行する		
28	サイト構築	テーマを決めサイトを構築する		
29	サイト構築	テーマを決めサイトを構築する		
30	サイト構築	テーマを決めサイトを構築する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
詳細！PHP+MySQL入門ノート		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	塩田和正/片山満久
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に必要な知識・技術・マナーを理解する ・卒業後の自分自身のキャリア像をイメージさせ、職業に就いたときの意識を考えさせる 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動における企業研究から、受験・内定後の礼状など、基本的な流れを復習し臨機応変に対応できるポイントを習得する ・社会人としての心構えを身につけ、卒業後、社会に出てからの早期離職を防止する 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		システムエンジニアとして10年 社会人経験を活かし、学生のロールモデルとなるように授業展開する		
時間外に必要な学修				
就職の手引きに一通り目を通しておくこと				
回	テーマ	内容		
1	就職活動状況の確認	学生それぞれの就職活動状況の確認をする		
2	状況確認&面接対策①	既に内定をいただいている学生から、面接であった事例等を紹介		
3	クラス内ディスカッション	現在までの個々の就職活動についての行動発表を行い、グループディスカッションする		
4	面接ロープレ①	面接をロールプレイング形式で行い、個人・集団形式ともに臨機応変できる力を身につける		
5	面接ロープレ②	面接をロールプレイング形式で行い、個人・集団形式ともに臨機応変できる力を身につける		
6	ホスピタリティマインド	ホスピタリティマインドについて理解し、自己のこれからの就職活動や就職後の活動につなげる		
7	面接ロープレ③	面接をロールプレイング形式で行い、個人・集団形式ともに臨機応変できる力を身につける		
8	面接ロープレ④	面接をロールプレイング形式で行い、個人・集団形式ともに臨機応変できる力を身につける		
9	カイシャ語①	カイシャ語とは何か カイシャ語を学ぶ理由 働き出すと求められるスキルについて(社会人として知っておくべき基本的語句漢字の読み、カタカナ語、文章表現など)		

回	テ ー マ	内 容		
10	カイシャ語②	カイシャ語とは何か カイシャ語を学ぶ理由 働き出すと求められるスキルについて（社会人として知っておくべき基本的語句漢字の読み、カタカナ語、文章表現など）		
11	面接ロープレ⑤	面接をロールプレイング形式で行い、個人・集団形式ともに臨機応変できる力を身につける		
12	面接ロープレ⑥	面接をロールプレイング形式で行い、個人・集団形式ともに臨機応変できる力を身につける		
13	グループディスカッション①	グループディスカッションを通じて集団作業での自分の立ち位置を考えて振る舞う 自分の意見を端的にまとめて相手に伝える		
14	グループディスカッション②	グループディスカッションを通じて集団作業での自分の立ち位置を考えて振る舞う 自分の意見を端的にまとめて相手に伝える		
15	グループディスカッション③	グループディスカッションを通じて集団作業での自分の立ち位置を考えて振る舞う 自分の意見を端的にまとめて相手に伝える		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・なし		出席率 課題・レポート	40.0% 60.0%	【準備学習】

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インシデント演習		ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	選択	片山 満久
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・サイバー攻撃・防御演習で設定した仮想環境をリアルなネットワーク上で再構築し、1年時に習得したネットワークとサーバの構築技術を組み合わせて、総合的なシステムを構築する。 ・システム運用時に起こる様々なインシデントを発見し、現象を把握して報告する流れを習得する。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・DMZ構造のネットワークシステムを設計・構築できる。 ・ルータ・Linuxサーバに管理者PCからアクセスし、状態を確認できる。 ・起きている現象からインシデントを発見し、適切に処置できる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		[実務経験] 片山満久 : システムエンジニア・プログラマとして、フリー期間も併せて15年の実務経験 「よくわかるインターネット基本操作(西東社)」など著書多数 情報処理安全確保支援士(セキュリティスペシャリスト)試験に合格している		
時間外に必要な学修				
ネットワーク機器の設定などを残すこともあるので、授業準備・後片付けとパスワードなどの管理を怠らないこと				
回	テーマ	内容		
1	インシデントとは	インシデントとアクシデントの違い		
2~3	環境構築	DMZ構築		
4	環境構築	Webサーバの構築		
5	環境構築	Proxyサーバの構築		
6~7	環境構築	LAN側の構築		
8~9	環境構築	Proxyを介したWebアクセス		
10~11	環境構築	内部ルータのACL設定		
12~13	環境構築	外部ルータのACL設定		
14	環境構築	システム仕様書提出		
15~25	人的インシデント演習	サイバー攻撃の現象確認 システムの復旧 インシデント報告書提出		
26~27	Webアプリケーションシステム構築	MySQL構築		
28	Webアプリケーションシステム構築	PHP導入		
29~33	Webアプリケーションシステム構築	Webシステム構築		
34	Webアプリケーションシステム構築	システム仕様書提出		

回	テ ー マ	内 容		
35~ 45	システムインシデント演習	サイバー攻撃の現象確認 システムの復旧 インシデント報告書提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
セキュリティ実践演習		ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	80回	5単位(160時間)	選択	片山, 塩田
授業の概要				
2年生前期までで習得したネットワーク・サーバ構築・セキュリティの技術を活かし、様々なトラブルシューティング型問題の設問と解答を行う さらに、その問題を利用して、学内トラブルシューティングコンテストの企画・環境構築・準備・開催までを行っていく				
授業終了時の到達目標				
学内トラブルシューティングコンテストに、主催者側として企画・運営するために必要な技術的解決が行える ネットワークセキュリティ学科1年生を対象にした学内トラブルシューティングコンテストを企画・運営側として成功させる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	トラブルシューティングの概要	トラブルシューティングの概要 学内トラブルシューティングコンテストについて		
2~ 3	問題作成 1	ネットワーク問題の作成		
4	問題解答	問題の解答と振り返り 他の学生の問題を解き、振り返りを行う		
5~ 6	問題作成 2	ネットワーク問題の作成		
7~ 8	問題解答	問題の解答と振り返り 他の学生の問題を解き、振り返りを行う		
9~ 10	問題作成 3	サーバ問題の作成		
11~ 12	問題解答	問題の解答と振り返り 他の学生の問題を解き、振り返りを行う		
13~ 14	問題作成 4	サーバ問題の作成		
15~ 16	問題解答	問題の解答と振り返り 他の学生の問題を解き、振り返りを行う		
17~ 18	問題作成 5	発表形式の問題作成(ネットワーク)		
19~ 20	問題解答	発表形式での問題解答と解説		
21~ 23	問題作成 6	ストーリーのある問題の作成(サーバ中心)		
24~ 25	問題解答	問題の解答と振り返り 他の学生の問題を解き、振り返りを行う		
26~ 28	トラブルシューティングコンテスト 企画	構内トラブルシューティングコンテストの企画立案 全体のスケジュールリング 競技ルールの策定		

回	テーマ	内容		
29～ 36	ミニトラブルシューティングコンテスト準備	競技ルールの策定 問題選定 企画書策定		
37～ 52	ミニトラブルシューティングコンテスト準備	ミニトラブルシューティングコンテスト環境整備		
53～ 54	ミニトラブルシューティングコンテスト準備	リハーサル1		
55～ 56	ミニトラブルシューティングコンテスト準備	問題点の修正（主に解答解説）		
57～ 58	ミニトラブルシューティングコンテスト準備	リハーサル2		
59	ミニトラブルシューティングコンテスト準備	最終調整		
60～ 61	ミニトラブルシューティングコンテスト開催	実際のコンテストの開催と運営		
62	トラブルシューティングコンテスト準備	ミニトラブルシューティングコンテストの振り返り		
63～ 64	トラブルシューティングコンテスト準備	ミニトラコンを踏まえて問題選定		
65～ 66	トラブルシューティングコンテスト準備	全体のシナリオ作成とそれに合わせた環境整備		
67～ 68	トラブルシューティングコンテスト準備	リハーサル1		
69～ 70	トラブルシューティングコンテスト準備	問題点の修正		
71～ 72	トラブルシューティングコンテスト準備	リハーサル2		
73	トラブルシューティングコンテスト準備	最終調整		
74～ 76	トラブルシューティングコンテスト開催	実際のコンテストの運営		
77	トラブルシューティングコンテスト振り返り	反省と振り返りを行う		
78	トラブルシューティングコンテスト振り返り	イベント開催報告書と所感の作成		
79～ 80	成果物の整備	作成した問題群の整備		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	[準備学習] イベントを企画・ 開催する大きな流 れで授業が進むの で、ひとつひとつ の成果物を共有し

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビッグデータ活用演習		ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	選択	合田 千佳
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングの基本を事例を基に学習し、データ分析・整理手法の基礎を学ぶ ・データ分析のためExcelアドイン機能を活用し、関数・グラフ・集計機能を学ぶ ・企業が求める主体的に考える力を持った人材を育成するために、生徒が受動的になってしまう授業ではなく、能動的に学ぶことができるようアクティブラーニング教育を行う ・産学連携企画として、現在の香川県内及び高松丸亀町商店街などへのフィールドワークやヒアリング調査を通し、データ収集・データ分析を行い、香川県を元気にできる企画コンペをグループワークで行う 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングの4つの理論（ベネフィット、セグメンテーションとターゲティング、差別化、4P）体系を身に付ける ・データ分析手法を用い、目的とする資料を作成できる ・企画書を作成し、効果的なプレゼンテーションを行う力を身に付ける ・アクティブラーニング教育を通し、主体的に考える力を持ち、それを実現する力を身に付ける 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		Microsoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などを経験		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する ・社会経済の様々な変化にアンテナを張り、情報を収集する 				
回	テーマ	内 容		
1	マーケティング基礎	「マーケティング」とはなにか？ なぜマーケティングが必要なのか？ マーケティングの基本4理論を知る		
2	マーケティング基礎	「誰があなたの商品を買ってくれるのか？」 セグメンテーションとターゲットを知る		
3	マーケティング基礎	「どのようにして価値を届けるか？」 4P（製品、価格、販路、広告）を知る		
4	マーケティング基礎	マーケティング基礎の振り返り 企画書作成、資料作成方法を知る		
5	ビジネスデータ分析の基礎 ①ビジネスデータ把握力	データ分析やビッグデータの概要、統計学の必要性を理解する ①ビジネスデータ把握力 第1章 平均値 第2章 中央値 第3章 最頻値 第4章 レンジ 第5章 標準偏差 ②ビジネス課題発見力 第7章 度数分布表		

回	テーマ	内 容
6	ビジネスデータ分析の基礎 ①ビジネスデータ把握力 ②ビジネス課題発見力	①ビジネスデータ把握力 第5章 標準偏差 ②ビジネス課題発見力 第8章 標準化
7	ビジネスデータ分析の基礎 ②ビジネス課題発見力	②ビジネス課題発見力 第9章 移動平均 第10章 季節調整
8	ビジネスデータ分析の基礎 ③ビジネス仮説検証力	③ビジネス仮説検証力 第11章 集計 第12章 散布図 第13章 相関
9	ビジネスデータ分析の基礎 ③ビジネス仮説検証力 色々な分析方法や仮説検定の紹介	③ビジネス仮説検証力 第14章 回帰分析 第15章 最適化
10	RESASとは 無料で使えるBIツール紹介	ビッグデータの概要とRESASを使用してできる特徴的な機能 説明と操作を体感する
11	企画コンペ準備 グループ分け、現状調査 フィールドワークの準備	グループに分かれて、イベント企画コンペ準備（現状調 査）、次回フィールドワークとヒアリング調査（現状分 析）に必要な作業の洗い出しと準備、役割分担を行う
12	企画コンペ準備 現状分析（フィールドワークとヒア リング調査）	グループに分かれて、企画コンペに向けて、香川県内及び 丸亀町商店街などの現状分析のためフィールドワークとヒ アリング調査を行う
13～ 14	企画コンペ準備 イベント企画の手順 (1)現状分析 (データ収集とデータ分析) 企画書作り	前回フィールドワークの調査報告レポート作成 グループに分かれて、企画コンペに向けて、香川県内及び 丸亀町商店街などの現状分析のためデータ収集、データ分 析を行う
15～ 16	企画コンペ準備 イベント企画の手順 (2)コンセプト策定 企画書作り	イベントの目的と対象者ターゲットの行動やニーズを明確 にし、コンセプト（概念・全体を通じた基本的な考え方） を策定する

回	テーマ	内容		
17～ 19	企画コンペ準備 イベント企画の手順 (3)計画立案 ①基本構想 ②基本計画 企画書作り	企画の基本構想（目指すべき方向と実現に向けた基本的な枠組みを明らかにした計画書）を作成する 基本計画（基本構想をより具体的に実現に向けた具体的な指針や課題を目に見える形で提示する）を作成する		
20～ 21	企画コンペ準備 イベント企画の手順 (3)計画立案 ②基本計画 ③実施計画 企画書作り	基本計画（基本構想をより具体的に実現に向けた具体的な指針や課題を目に見える形で提示する）を作成する 実施計画（基本計画の制度をさらに高め、開催に向けた現実的な対応を詳細に詰めていく作業）を作成する		
22～ 23	企画コンペ準備 イベント企画の手順 (4)広告宣伝 企画書完成	企画したイベントの顧客動員のために、どのような広報宣伝方法が周知とROI（費用対効果）によいか決定する 提出用の企画書を完成させる		
24～ 27	企画コンペ準備 プレゼンテーション資料作り	グループに分かれて、企画プレゼン用の効果的な資料作成、発表準備を行う		
28	企画コンペプレゼンリハーサルと最終チェック	最終発表前のリハーサルを行い、修正箇所を直す 発表の仕方、事前準備についても再確認を行う		
29～ 30	企画コンペプレゼンテーションの実施	1. 企画コンペプレゼンテーションの実施 2. 質疑応答 3. プレゼンを評価し、各自、今後のプレゼンテーションへの課題を確認		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・Excelで学ぶビジネスデータ分析の基礎		課題・レポート 実習・実技評価 出席率	40.0% 40.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
AWSクラウド演習		ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	選択	塩田 和正
授業の概要				
基本的なAWS (Amazon Web Service) のサービスを利用するうえで必要な基本的な知識を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
AWS 認定クラウドプラクティショナー合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		システムエンジニアとして10年の開発経験		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	クラウドコンピューティングの特徴とメリット	Amazon Web Serviceとは AWSの挑戦 IT基盤に求められること AWSの基本コンセプト AWSクラウドが選ばれる理由 Infrastructure as Code		
3	ITシステムの使用例とAWSの主要サービス	ITの機能とAWSのサービス AWSの利用例 Well-Architectedフレームワーク		
4~ 7	AWS導入のメリット①	AWSのコンピューティングサービスの概要 Amazon EC2 Amazon VPC AWS Lambda ラボ演習		
8~ 15	AWS導入のメリット②	ストレージサービスの概要 Amazon S3 Amazon EBS Amazon EFS Amazon FSx for Windows ラボ演習		
16~ 20	AWS導入のメリット③	データベースサービスの概要 Amazon RDS DynamoDB ラボ演習		

回	テ ー マ	内 容		
21～ 25	AWS導入のメリット④	セキュリティサービスの概要 データセンターのセキュリティ ユーザ管理 ベストプラクティス ラボ演習		
26～ 29	AWSクラウドプラクティショナー 資格対策	AWSクラウドプラクティショナー資格対策		
30	期末試験を行う	期末試験を行う		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	AWSクラウドの基本と仕組み	期末試験 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
セキュアプログラミング演習Ⅱ		ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	選択	長川 信也
授業の概要				
・ Webアプリケーションに起こりうる脆弱性の問題と対策について学習する				
授業終了時の到達目標				
・ PHP、データベース利用における安全なWebサイトの実装				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	PHP①	1. PHPの実行 2. 出力		
2	PHP②	3. フォーム 4. GET POST		
3	PHP③	5. クッキーとセッション		
4	PHP+DB①	1. データベース 2. SQL		
5	PHP+DB②	3. PDOオブジェクト		
6~ 7	PHP+DB③	1. フォームからの入力とデータベース連携		
8	Javascript①	1. Javascriptの実行 2. 変数、オブジェクト		
9	Javascript②	3. DOM		
10	実習環境構築①	1. Virtual Box 2. JREインストール 3. Firefox、FoxyProxy-Standard 4. OWASP ZAP		
11	実習環境構築②	5. OWASP ZAPの利用 6. Webメールの確認		
12	クロスサイトスクリプティング①	1. クロスサイトスクリプティング(基本) 2. 攻撃方法と影響		
13~ 14	クロスサイトスクリプティング②	3. 対策と実践		
15	クロスサイトスクリプティング③	1. クロスサイトスクリプティング(応用)		

回	テ ー マ	内 容
16	クラスサイトスクリプティング④	2. 対策と実践
17	SQLインジェクション①	1. SQLインジェクション 2. 攻撃方法と影響
18~ 19	SQLインジェクション②	3. 対策と実践
20	クロスサイト・リクエスト・フォージェリ (CSRF) ①	1. CSRF 2. 攻撃方法と影響
21~ 22	クロスサイト・リクエスト・フォージェリ (CSRF) ②	3. 対策と実践
23	クリックジャッキング①	1. クリックジャッキング 2. 攻撃方法と影響
24	クリックジャッキング②	3. 対策と実践
25	セッションハイジャック①	1. セッションハイジャック 2. 攻撃方法と影響
26	セッションハイジャック②	3. 推測可能なセッションID 4. URL埋め込みセッションID 5. セッションIDの固定化
27	セッションハイジャック③	6. 対策と実践
28	HTTPヘッダ・インジェクション①	1. HTTPヘッダ・インジェクション 2. 攻撃方法と影響
29	HTTPヘッダ・インジェクション②	3. 対策と実践
30	メール送信の問題①	1. メール送信の問題 2. 攻撃方法と影響
31	メール送信の問題②	3. 対策と実践
32	ファイルアクセスにまつわる問題①	1. ファイルアクセスにまつわる問題 2. 攻撃方法と影響
33	ファイルアクセスにまつわる問題②	3. ディレクトリ・トラバーサル 4. 意図しないファイル公開
34	ファイルアクセスにまつわる問題③	3. 対策と実践
35	OSコマンド・インジェクション①	1. OSコマンド・インジェクション 2. 攻撃方法と影響
36	OSコマンド・インジェクション②	3. 対策と実践
37	XML外部実体参照①	1. XML外部実体参照 2. 攻撃方法と影響
38	XML外部実体参照②	3. 対策と実践
39	Javascriptの問題①	1. DOM Based XSS 2. 攻撃方法と影響

回	テ ー マ	内 容		
40	Javascriptの問題②	3. 対策と実践		
41	Javascriptの問題③	1. Webストレージの不適切な仕様 2. 攻撃方法と影響		
42	Javascriptの問題④	1. postMessage 2. 攻撃方法と影響		
43	Javascriptの問題⑤	3. 対策と実践		
44	認証①	1. 認証 2. 攻撃方法と影響		
45	認証②	3. ログイン機能 4. パスワード認証 5. 自動ログイン		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・体系的に学ぶ 安全なWebアプリケーションの作り方 第2版		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅲ		ネットワークセキュリティ 学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	選択	戸倉 潤也
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ●社会に出るまでに身に付けておくべき一般教養、人としての常識を学ぶ ●社会に出てから必要となる人間力、提案発信力を修得する ●社会人として最低限の知識・マナー等を体得するため、ロールプレイングを中心に会社での基礎知識を学ぶ 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ●社会人基礎知識および基礎能力が身に着いていること ●感謝と謝罪が素直にできる社会人になる ●入社後、指示を受けたことが疑問なく理解できる、また命令を遂行でき次の展開が考えられること 				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
テキストの該当ページを事前に確認する事 配布したプリントを利用して毎回復習を行う事				
回	テーマ	内容		
1	最初に	授業内容および到達目標について説明 評価方法について説明 自己紹介文を考える		
2	新入社員学①	新人時代の心構え 社会人として最初に気をつけるべきこと 会社のルールについて学ぶ		
3	新入社員学②	社会保険の基礎を学ぶことにより給与を知る		
4	コミュニケーション①	コンセンサスゲームを使い「合意形成」を学ぶ		
5	新入社員学③	社会人として必要な挨拶の基本と席次について学ぶ		
6	新入社員学④	仕事の進め方 ビジネスの3原則及び5つのビジネス意識		
7	コミュニケーション②	コンセンサスゲームを使い「合意形成」を学ぶ		
8	新入社員学⑤	各種ハラスメントについて		
9	新入社員学⑥	社会人の人間関係について 人付き合いについて		
10	ビジネス基礎知識①	電話対応のポイント		
11	ビジネス基礎知識②	慶弔時のマナーについて		
12	ビジネス基礎知識③	時事問題について		
13	ビジネス基礎知識④	会社で使われるビジネス用語		

回	テ ー マ	内 容		
14	ビジネス基礎知識⑤	ストレスとメンタルヘルスについて		
15	まとめ	まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
新入社員情報ハンドブック 私製教材		出席率 確認テスト	50.0% 50.0%	